

Catch the eye 2015年5月

2015/5/1 天六
(金)

いっとき雨続きだったけど、このところは晴れ続き。気温も高く、初夏の様子。空気はカラッとしているから、窓を開け放して、風を通す。街なかでもなんとなく草の匂いがしてくる。薫風五月。

大型連休、まさにそうなのが、同じフロアのお隣さん。一昨日の29日から休んでいる。ひよっとすると10日まで休みかもしれない。それほど休めばヨーロッパ旅行もいけるでしょう。

そんな休みもお金もないけど、オフ感は味わいたいと思う人たちが繰り出しているのか、昨日JR天満駅で待ち合わせをいていたらの多いこと。中高年男性のグループが目についた。

居酒屋ブームの前から天満、天神橋筋商店街のわき道一帯は居酒屋のメッカ。話には聞いていたけど、これほどまでとは。知人いわく、このあたりはチェーン店がほとんどない。

そう。だから、見てまわりながら、しだいにテンションが高くなる。どの店も個性的で、ここもよさそう、あちらも・・・という風に満面の笑みをたたえて、喜々としている自分がある。

今の季節、日の入りはおそい。間口の広い入口を開き放ち、まだ明るいうちから飲み始める。大型連休とは無縁だけど、オフ感満載の天六に開眼。

2015/5/5 うつぼ公園
(火)

バラが咲いた







2015/5/7 薫風五月
(木)

大型連休が終わった。あまり関係なく仕事はしていた。カラッと晴れた5日の帰り道、うつぼ公園を通ったらバラが咲いていた。中央の芝生には家族やグループがたくさん。その場を遠巻きにして、林の中を歩く。ふわ〜と草の匂いがした。ああ〜と木々を見渡す。今年もちゃんと出会えた、この匂いに。薫風五月。

そういう楽しみをもうできないとは去年の今頃は想像もしていなかったろうと、病に臥した知人のことを思う。直接の知り合いではないけど、気がむけばリーズレーターに感想を寄せてくれていた。飄々として、ホンネを鋭く突き、ボランティア精神も旺盛。なかなか愛らしい熟メン。健康にも気をつけていたらしいのに、人生、何か起こるかかわからない。

「だからといって哀しむこともありません」。それも寿命」。寿命という字は寿を使うじゃないですかと言われて、今さらながらにそうだったと思った。天寿という言葉もあるが、無慈悲と思える事態をうけとめ、人の心の目を別なところへ運び、解き放ち、気持ちを前進させる。その術として、天を仰ぐのも人の積み上げた知恵。

2015/5/14 『卑怯を憎む心を』
(木)

お昼すぎから急に曇が多くなり、あっといまに雨が降り出した。予報よりずいぶん早い。「夜遅くなる方は折りたたみ傘をもっていくと安心です」なんて。その分、明日は晴れるのかしら、京都では葵祭。

『卑怯さを憎む心を養う教育プログラムがないものかと思うんですけどね・・・』。大学で教える人の呟きを聞いた。スマホで出欠をとる時代、授業の終わり頃に入ってきているのに、電池切れで出席操作ができなかったと申し出る学生が少なくないのだとか。

見た目はキレイに装っているのに、やっていることが卑怯。このまま世の中を生き、それなりの年齢になった時の姿が容易に想像できるというのだった。しかし彼らはその行為を卑怯とは考えていなさそう。むしろ、うまくやりこなしていると思っているようで、認識の差が大きい。

『切手を使うなんて、みんなやっていますよ』。少し年下の会社勤めの人が、そう言ったときにはびっくりした。今から15年ほどの前のことだけど、やけに印象に残っている。会社で買って置いてある切手、それを自分用に使う。そんなセンスは持ち合わせていなかったなあと思った。

卑怯という言葉が耳についたのは、久しぶりに聞いたように感じたからだ。「卑怯」と「要領がいい」のかき根が低くなり、卑怯の概念が希薄になっていると見てとる。「要領がいい」の裏にはずる賢いというニュアンスがあって、ほめ言葉とはいえなかった。

でも最近ではそのずる賢さを肯定的にとらえる割合が増えているのではないか、若い人の世界では。そういう彼らが同時に年を重ねていくから、世相は彼らに合っていく。それが常。その世に自分はもういない。だからいる間は時代を引き継ぐ者として疑問をなげかけていよう。

2015/5/18 京都四条大宮
(月)

この日開館した『おもちゃ映画ミュージアム』。町屋をそのまま生かして、光学玩具やマジックランタン、玩具映写機の展示とフィルムの上映で、映画の前史がわかる場。仕事でちょっと知り合ったご縁で、出かけてみた。



2015/5/19 もう紫陽花
(火)

よく降った。大阪はまだ雲っているが、お昼ごろから晴れてくるらしい。かなり蒸し暑くなるとの予報。こういう日、もしまだ咲いているなら大田神社へひとっ飛びしたい。京都上賀茂、大田の沢に群生する野生の杜若には水の気が似合う。

「梅雨の走りのようなお天気」と予報士が言ったとき、それはまだ早いんじゃないのと思った。昨夕紫陽花が咲き始めているのを見て、そうですかと一人つぶやく。暑くなるまではちゃんと歩いておかなければと仕事の合間に歩く。昨日は『おもちゃ映画ミュージアム』オープンに出かけた。町屋をいかし、映画前史がわかる小さなまちなか博物館。

本当に好きなこと、やりたいことをやる。そういう人が少しずつ目に見えてきた、若い人も熟年も。中身のことはあまりわからなくても、思いはよくわかる。それをアシストするのが仕事でもある。仕事をこえた仕事。ちょっとした好意による働き。そういう些細なひとしごと、働きかけが事を成り立たせる出発点。

意識するともなくそう考え行動してきたから、本当に好きなこと、やりたいことをやっていると言える自分自身も。その代わり、得られないこともあると了解。何事もトレードオフの関係。あれもこれもと、問屋が卸さない。そう考えられるかどうかは差は大きい。心の安定か葛藤か。ただし後者であっても、それもまた一つの通過儀礼。

2015/5/21 うつぼ公園
(木)

帰り道、うつぼ公園。カラッと晴れた一日。そのまま帰るのは惜しい。前夜降った雨のおかげで、新緑が清々しい。スマホで撮ってみる。



25/5/22
(金)

帰り道にうつぼ
公園、バラ満開





2015/5/22 見てとる
(金)

ビルの白い壁に差す陽射し。カラッと晴れた大阪。空気が澄んでいるようで、やけにキラキラしている。開けた窓の下は駐車場。建物がなく、窓枠全面から照り返しが目に入る。眩しく、そそられる。「書を捨てよ、野に出よう」と誘うよう。

誘うといえば、梅田のデパ地下でのこと。「京都から来ましたよ、今日が最終日ですよ」と店主らしき熟年男性が声をかけて、前を歩く女性二人が足をとめた。とたんに語りだす店主。そばで聞いてみる。

「これがおいしい、うちのこれは・・・」と母子らしく二人に親しげに話す店主。やけに口数が多い。「店を休んできてるから、次はいつになるかわからん。これ、これを買っとかんと」。

なんとなくちょっと違う感じがした。買うのはやめようと離れかけた。でも、よもぎの風味が気になった。ま、とりあえずは試してみないと、店の出世菓子という塩大福とよもぎ大福を買った。

やっぱりやめておけばよかった。ほんものじゃないのが、味からも表示からも見てとれた。そう、それは買う段階で店主からなんとなく感じとっていた、見てとっていた。

何か究めようとしている人の感じがしなかったとっていい。多弁な人ならなおさら、語り口調と話す内容はもっと奥行きのあるものなるはず。人のことを見てとる。人もこちらを見てとる。

そうと了解しつつ、少々手薄になっていたこのホームページ。ひさしぶりに見渡したら、企画セミナーVol.2のリンクがVol.3と重なっていた。慌てて修正。自分に向けて「慣れに狎れないように」。

2015/5/27 空気、大気も
(水)

当ビルも今日からクーラーがオン。5月に真夏日直前、それでも今日まではカラッとしている。明日から湿度が高くなるらしい。今から身構える。このまま蒸し暑さが続くとしたら、長い夏になる。体調管理注意。

バランスのとれた食事、適度な運動、質のよい睡眠。脳の活性も身体の健康も、この3つに尽きることはよくわかっている。でも、羽目はずしてしまうのが凡人、わが身。あとは程度の問題。

そしてさらに、大きな要素あり。以前の日経連載『ほどほど健康術』でも書いてあったし、つい最近も新聞に載っていた、空気、大気の影響。黄砂の時は目にみえてわかるが、普段は気づきにくい。

ミュージシャンのノドのガンがニュースになっていた。スタジオやコンサートが仕事場の彼ら、職場環境が影響しているのではないかと思っている。強いライト、換気のおいつかないホール、その中で酷使するノド。

女性なら化粧品のパフダー類やスプレーなども気をつけた方がいいと思う。つける時はちょっと息をとめたり、すぐにソッポ向いたり。生活習慣をこまかく見て、気になることは注意しよう。積もれば、塵にも宝にも。